

色内銀行街を形成する重厚な近代建築

13

きゆう みつい ぎんこう おたる してん

旧三井銀行小樽支店

■所在地：小樽市色内1丁目3番10号

■問合せ先：小樽芸術村（TEL 0134-31-1033／見学には入館料が必要です）

■休館日：（5月～10月）無休、（11月～4月）毎週水曜（祝日の場合その翌日）、年末年始、臨時休館、休日変更あり



三井銀行は、明治13（1880）年の小樽出張所開設から平成14（2002）年に撤退するまで122年間小樽で営業を続けました。

現在の建物は曾禰達蔵・中條精一郎の両所長率いる曾禰中條建築事務所の設計、竹中工務店の施工により、昭和2（1927）年に竣工しました。三井銀行は小樽に進出して以来、たびたび移転や大火による焼失を経験していたため、明治13年から数えると6代目にあたります。

大正12（1923）年に発生した関東大震災により東京本店が焼失したことを受け、防火・耐震に優れた鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）構造が採用されています。小樽におけるSRC構造の建築物としては、最初期の例になります。

花崗岩を積み上げ石造を模した外壁、ギリシア・ローマ風のデザインを取り入れた装飾、鉄骨で支えられた営業室の大空間と吹き抜け回廊など、翌年に完成した本店（東京）とほぼ同じスタイルで建てられています。

また、平成28（2016）年より「小樽芸術村」の一部として利用されることが決まった際の改修では、大金庫室や地下貸金庫室などだけではなく、照明器具や暖房装置などの設備機器に至るまで、建設当時の雰囲気伝えるよう配慮されました。さらに、現建物（6代目支店）、前身建物（5代目支店：明治38年竣工）に関する図面、建設写真、支払い明細などの文献資料が大量に保存されていたことは、全国的にも希少な例として注目されています。



1



2



3



4

【写真】1 旧三井銀行小樽支店外観 2 営業室 3 貸金庫室 4 貸金庫室回廊